

地域おこし協力隊が  
本音で編集した

鹿児島県  
東串良町  
移住ガイドブック



東串良町後継者支援協議会

鹿児島県  
東串良町  
移住ガイドブック



東串良町後継者支援協議会

東串良町は、鹿児島県の大隅半島中央部に位置します。

一年を通じて温暖でほぼ雪も降らず、過ごしやすい気候と言えます。  
小さなまちですが、その周囲には恵まれた自然と、  
買い物や子育てに便利な施設があります。

自宅の庭から空を見上げると、夜空に広がる天の川や、  
宇宙へと打ち上がるロケットも見ることができ

「都会にはないものがある」まちです。

ですが、どのまちで暮らすにしても「移住する」というのは、  
必ずしも良いことばかりではありません。

新しい何かや、素晴らしいことだけを期待していても、  
実際に暮らしてみると想像と違うこともたくさんあると思います。

毎日の暮らしの中で、大事にしたいことはなんだろう。

どんな暮らしが、自分に合っているのだろう。

何を大切にしたい、どこで、どんな暮らしをするのか。

そんなことを考えるための手助けとして、まちとの幸福な出会いのために、  
地域おこし協力隊<sup>(※)</sup>が本音で編集した「移住ガイドブック」です。

鹿児島県  
東串良町

※地域おこし協力隊とは・・・都市部から地方に実際に移住し、地域力の維持強化を目的とした協力活動を行う総務省の制度。

はまだ まさこう  
**浜田 政攻** さん(40代)  
 職業 ビッツェリア「グラッツェエ・タンテ」オーナー、ピザ職人  
 独身(パートナー募集中)

Uターン(東京(25年間) → 東串良町)

Q 困ったこと、不便を感じるところ、あえてまちの良くないところを教えてください。

昔は、住まいが赤坂だったので、たいていの所はロードバイク(自転車)でスムーズに行けたのですが、今は目立つのと車が無いと生活できないのとで乗っていないです。

Q ローカーで暮らす、良いところは？

都会のマンション暮らしでは、上下左右全部に人がいて、自分のやりたいと思ったことを日常の中で実現するのが困難でした。たとえば、内装の壁を塗ったり、外で焼き肉や七輪を使ったり、植物を植えたり、小屋を建てたり、大きな音で音楽を流したり、といったことが自宅や近所では不可能でした。今は都会よりも色んなことが実現できる、みんながやりたがっていることがローカルでは出来る、と感じています。

Q ローカーで暮らすというものは良いことも悪いこともあるんだと思いますが、都会よりも色んなことが実現できるような環境が、誰にも干渉されず出来ること、いっぱいあると思います。

この町にはなかったものを都会から持ってきたからと言って、その時点で進歩を止めたくなくて、定期的に都会に出かけて研究して、ローカルにある店だからこそ、都会的なものを出すよう心がけています。



## 浜田 政攻 さん

就職を機に上京し、25年間会社員としての人生を歩んでいた浜田さん。実家を継ぐことを決めると、東京の飲食店で修業を積み、実家の鉄工所跡を数年かけてピッツェリアにリノベーションし、お洒落な隠れ家的レストラン「GRAZZIE TANTE」としてオープンさせました。お店の外観・内装はもちろん、食材や仕上がりにも気が行き届いています。

## 2 移住者の声

Q 東串良町に戻って来て感じたことは？

Q ローカーで暮らす、良いところは？

Q 移住を考える人にひとこと。



実は、いろんなことに挑戦できるローカル暮らし。同意です。

## 宮田 沙矢香 さん

青森に生まれ、東京に暮らしていた宮田さんが結婚を機に東串良町に移り住んだのは、約10年前。来た当初は「雪の代わりに灰が降る」と感じたそうです。現在は、創業110年を数える老舗の醤油蔵である児玉醸造のスタッフで、石蔵を活用した直売所にある大きな黒板に描かれた季節折々の案内は、宮田さんの手によるものです。また、数か月に一度開かれる人気のマルシェ「石蔵小町」でも活躍されています。

## 1 移住者の声



わたしも九州の甘い醤油にヤラレたくちです！



Q 移住に際し、不安はありませんでしたか？

移住を決めるのって結局「ローカルだから」とかじゃなく「人」だと思うんです。結婚前に初めて鹿児島に来た時に、主人から友人とご両親を紹介してもらったんですが、主人の一番身近な人を知って、すごくいい人じゃないかと思って。だから他の事はあまり考えずに来れたのかな、と。でも、結婚後に最初に働きに出るまでには鹿児島の言葉がまだよくわかってなかったんで、少し勇気が要りました。

Q 移住した頃感じたことは？

醤油も料理も甘いなのと、地元では普通だった緑色のきな粉が売っていないな、と感じました。気候では、灰よりも気になったのは、夏の暑さと紫外線の強さです。

Q お子さんが3人で大変だと思うのですが、子育て環境はどうですか？

この辺りでは、子ども3人はそんなに珍しくありません。都会

と違ってどこに行くにもクルマは必要ですが、その分ベビーカーを押したり、電車に乗らないといけないかったり、ホームでエレベーターを探して歩いたりしなくていい。小さなまちだから、自宅から、保育園、学校、職場(夫)実家、全部が近い距離にあって、コンパクトにまとまっていて暮らしやすいです。

Q 休日の過ごし方は？

近くに温泉施設が多く、遊具のある公園も併設してたりするので、家族でよく遊びに行きます。あとは、子どもたちとサッカーしたり、凧揚げしたりして外で遊ぶことが多いです。

Q ローカーで暮らす中で思うことは？

将来、子どもたちには『都会を見て欲しい』とは思わないけど、男の子なので自立心を持ってどっしりして欲しいので、一度はどこかに出た方が良く思う。私たち(夫婦)も、そうして今があるの。

みやた さやか  
**宮田 沙矢香** さん(30代)  
 職業 児玉醸造スタッフ  
 家族構成 夫婦、子ども3人(小3、保育園年長(6歳)、年少(4歳))  
 青森 → 東京(首都圏) → 東串良町(10年前から)





Q 東串良町に来た時の印象はどうでしたか？

「宗明さん」 あくまでも当時の話、になるのですが。前にいたのが離島だったのでそこから比べると、町のネオンも明るくてお店も多くて、生活がとても便利になりました。

Q 趣味は何ですか？

「宗明さん」 サーフインです。波があれば漁の合間にちよくちよく行くようになりました。恥ずかしながら、漁で毎日海に出ているのに、こんなにサーフィンができる所とは知りませんでした。最近では柏原海岸にドローンが飛んできて、YouTubeにもアップされています。「柏原サーフィン」で出て来ますよ。他所のことはあまり知らないけれど、サップの人とロングボードの人とショートボードの人、みんな仲が良いのは自慢できることも知れません。

Q 漁師のお仕事はどうですか？

「宗明さん」 漁の仕事のほうは、文句なしにやりがいがあります。

Q 移住のきっかけを教えてください。

「昌子さん」 夫に「漁船の後継者にならないか」という話を頂いたのがきっかけです。幸運だったことに、船は直ぐに漁に出られる状態だったし、住むところもいい家がすぐに見つかって、移住はとんとん拍子で進んでいきました。

Q お子さんが5人いらっしゃると思いますが、子育て環境はどうですか？

「昌子さん」 いい環境なんだと思います。3人目が生まれた時に一度、子どもたちを連れて上京したことがあります。背中に赤ちゃんを背負って、左右に1人ずつ手をつないで。電車に乗るにしても、「もし子どもがはぐれたら」という不安と、そうならないように常に気を張っているといけなくて。

今は、子どもには触れさせたくない情報や、子どもだけで遊びに行かせたくないようなところが、周りにない。保育園も、徒歩数分の距離にあるし、いい先生ばかりでとても恵まれました。

自然相手なので、悪い条件がいくつも重つてくると非常にキツイこともあります。飽きません。

志布志湾には年間通して色々な魚が入って来るので、漁模様も毎日少しずつ変わってゆきます。「毎日が新しい」という言葉があります。漁の魅力とはまさにそのようなものではないかと思えます。でも、獲れない漁師ほど惨めなものはないので、出る時はいつも頑張ります。

Q 好きなまちの風景を教えてください。

「宗明さん」 船から見る志布志湾の景色はとても好きです。南の方の肝属山地の山々の連なりや、穏やかな日の夕方に高隈山の方に夕日が沈んでいく様は見飽きないものです。朝日も良いですが、自分の場合は一晩漁をしてからの朝日が多いので『早く家に帰って休みてー』とか思ったりするので、残念ながらじっくりと味わえないことが多いです。

子育てするには、本当に良いところだと思います。

Q 都会との関わり方はいかがですか？

「昌子さん」 子どもたちは全員6歳頃に「初めての一人旅」ということで、飛行機で夫の実家に行かせました。子どもだけで飛行機に乗る際に、安心して旅行できるように出発空港から到着空港まで、そのエアラインのスタッフが付き添いなどのお手伝いをしてくれる、というサービスもありましたので。

普段の子育てには、このまちが良いと思うのですが、時々はこのまちだけでなく、都会の生活も見えて欲しい、と思っています。

Q 料理研究者として東串良町はどのようなところですか？

「昌子さん」 大隅半島は、新鮮な美味しい食材が安く手に入るところだな、と感じています。自宅や地域の施設で料理教室をしているのですが、参加される「お母さん」が、料理はもちろん、楽しい時間を過ごせる場をつくっていきたいです。



実際、日曜日の海岸周辺、サーファーの方々をよく見かけます。



## 岡本さんご夫妻

神奈川県出身、魚と海が好きで水産学を学び、漁師の道を選んだ岡本宗明さん。

東串良町出身、料理が好きで調理師を志し、食の世界に生きる昌子さん。

そんな、それぞれの分野で活躍するお二人が東串良町に移住してから13年。

今は5人のお子さんとともに、にぎやかに暮らす毎日を送っています。



### 岡本さんご夫妻

おかもと そうめい  
岡本 宗明さん(40代)

職業 漁師

神奈川県 → 東串良町(13年前から)

おかもと しょうこ  
岡本 昌子さん(40代)

職業 料理研究者

Uターン(13年前に東串良町に移住)

家族構成 夫婦、子ども5人(中3、中1、小5、小3、保育園年長(6歳))



起業して2年で新居をゲット!?  
ば、僕も考えねば、、、



Q 農家を始めようと思った  
きっかけは何ですか？

結婚当初から休みの日の楽しみの一つが、妻の実家の農作業の手伝いでした。長年そういう生活を続ける中で、ますます農業に魅力を感じて。農家っていいな、と。そんなことを考えていると、みんなで仲良く一緒にピーマンを作る、というのもいいのかなと思って。家族で楽しくゆとりある生活をしたかったんです。

Q 東串良町に来て、変わったことは？

子どもたちが伸び伸びとできる、自由でゆつたりとした環境になったな、と。地域とのふれ合いも増えました。

Q 移住、就農を考えている方に  
ひとこと。

農家というのとはとても大変な仕事ですが、とても素晴らしい仕事だと思えます。ここは自然にも恵まれていますし、人とのつながりを大切にできる暮らしを過ごしています。

## 重田 嘉嗣 さん

折り目正しい所作と佇まいから、現代の侍を連想させる重田さん。前職の海上自衛隊では、航空機の搭乗員として救助と医療処置を行う機上救護員(メデイック)でした。そんな重田さんが、奥さまの実家であるピーマン農家を継いだのは、2年前。数か月前にはハウスの近くに新居を建て、まちでの新しい暮らしが始まっています。

## 4

移住者の声

### 重田 嘉嗣 さん(40代)

職業 ビーマン農家  
家族構成 夫婦、子ども4人(小5、小2、幼稚園年長(5歳)、1歳)

Jターン(鹿児島県鹿屋市 → 東串良町(2019年から))



Q 遠く離れたまちへの移住・就農について、周囲の反応はどうでしたか？

親からは、納得してもらった上で「好きなように、後悔のないような生き方をしなさい」と言われました。

Q 農家を始めようと思った  
きっかけは何ですか？

私は仕事が忙しくて留守番だったんですが、妻と子どもが帰省したことがありまして。その時に、義父の親戚のキュウリ農家で、子どもたち2人がキュウリを丸かじりしている画像がスマホに送られてきたんです。

Q 移住、就農を考えている方に  
ひとこと。

それまで、調理された野菜を子どもたちが食べるのを見ることはあっても、丸かじりしているのを見るのは初めてで。もし農家になったら、作った野菜を子どもたちやいろんな人に食べてもらえる生活があるのかな、と。

まずは地域のコミュニティに入るなど、知人を作ることが最優先だと思えます。家庭菜園とは違って収入を得なければならぬので、初期投資に関する詳細や、環境(何月が台風が多い、何時から風が強くなる)など、その土地の人しか知りえないこと

を教えられるルートがないと、厳しいと思います。でも、世の中には色々な方がいる中、親切な方もたくさんいて、住みやすい地域だと思います。



生産者が近いからこそ感じられる食の大切さ。ローカル暮らしならではの気づきでした。



## 久本 圭太 さん

## 5

移住者の声

### 久本 圭太 さん(30代)

職業 キュウリ農家  
家族構成 夫婦、子ども2人(5歳、3歳)

奈良 → 東串良町(2018年から)

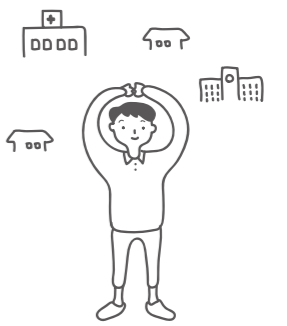
抜けきれない関西弁で、明るく話す久本さん。

奥さまの実家がある東串良町に移住したのは、2年前。それまでは、生まれてからずっと奈良県に暮らしていました。作業しながら話す何気ない言葉の端々から、ご家族を何より大切に思っていることが感じられます。退職を機に農業を志し、2019年秋、ビニールハウスでのキュウリの栽培を始めました。



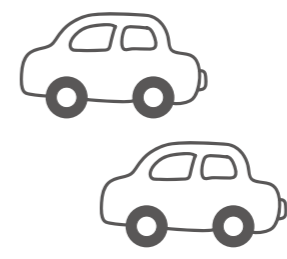
Q 東串良町って、どんな町ですか？

人口6584人、面積27.78km<sup>2</sup>(令和元年12月1日現在)の、大隅半島中部に位置する町です。子育て環境は、保育園3・幼稚園1・小学校2・中学校1が町内にあります。なお、子育て支援として高校生までの医療費の全額を助成しています。買い物環境は、主要なものだけでも、中型スーパー2、ドラッグストア1、コンビニ2、全国チェーンの衣料品店1などがあり、日常的な買い物は町内で出来ます。医療環境は、内科4、歯科2、整形外科1と医療機関は整っており、隣町には産婦人科もあります。小さな町ですが、暮らしにちょうど良いコンパクトなまちだと思います。



Q 移動手段はどうですか？

自家用車は必要です。ローカルの常で、公共交通機関は弱いですが、住み始めるとすぐに慣れて、代わりに「満員電車と渋滞のない毎日」を送っています。町内には「クルマは1人1台」のご家庭が多いように思います。



Q 通信環境はどうですか？

光回線で快適です。携帯電話もほぼどこでも繋がりますし、東串良町で情報難民になることはないと思います。



Q ごみの分別はどうですか？

大分類で5、小分類で11です。可燃ごみ、不燃ごみ(ストックヤード・ストックヤード以外)、資源ごみ(プラ類・紙類・びん類・缶類・衣類・小型家電)、直接搬入ごみ(粗大ごみ)、処理できないごみ、です。



Q 東串良町で就農したいと思います。どうやって情報収集すればいいですか？

役場の農林水産課へご相談ください。漠然と農業をしたいということでも大丈夫です。就農体験(ピーマン)も受け付けていますので、お気軽にご連絡ください。



東串良町はピーマンの収穫量・出荷量  
鹿児島県1位

Q 南国だと思うのですが、夏・冬はどんな感じですか？

夏らしい時期はとても長く、冬は普通に寒いです。鹿児島県の年平均気温は全国2位の18.6度(※)で、個人の体感としては3〜10月の間ずっと暖かいです。冬は、移住の際に「南国だからダウンジャケットは必要ないだろう」とか思って整理したのですが、結局買い直すことになりました。年間雪日数は4日(※)。雪はほとんど降りません。(※参照:総務省統計局「統計でみる都道府県のすがた 2019」)



Q ローカルならではの、日常のおすすめは何ですか？

温泉です。実は、鹿児島県の源泉総数は、大分県に次いで全国2位(※)です。町の近隣にも、クルマで20分以内程度のところに温泉施設が3つあります。記事執筆現在、東串良町近隣の温泉施設の利用料は東京都の銭湯料金より100円以上安いです。週末に限らず普段の生活の中に、気軽に温泉に行けるのは魅力です。(※参照:環境省「平成29年度温泉利用状況」)



17~18ページ  
東串良町での就農活動を支える各種支援制度



鹿児島県の面積は全国10位。東京都の約4倍の広さです。離島も多く、地域ごとの特色もある県ですが、数字の向こうに暮らしが見えてきます。

22ページ各種お問い合わせ

情報・準備

Q

インターネットで、鹿児島県への移住情報を集めるのに、おすすめのサイトはありますか？

鹿児島県移住・交流ウェブサイト「かごしまで暮らす」です。移住までのステップや移住者インタビュー、移住Q&Aなど鹿児島移住に関する情報満載です。また、東串良町役場HPはもちろんです、季節折々の出来事やイベントについては「東串良町地域おこし協力隊」Facebookページでもご紹介しています！

A



情報・準備

Q

首都圏で、鹿児島県への移住について相談できる所はありますか？

東京有楽町に、相談窓口「かごしまよかとこ」暮らし支援センターがあります。移住に興味のある方や移住を検討している方などに対し、専門の相談員が生活環境や住まい、移住支援等について幅広く相談をお受けします。また、首都圏で開催される移住セミナー・フェア等でも個別の相談に応じています。開催・出展情報については、次のQ&Aをご参照ください。

A



降灰について

Q

桜島の灰は、東串良町ではどうですか？

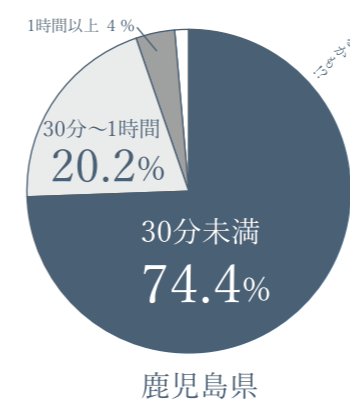
冬場に、うっすらと降ります。『数日前に洗車したのに、何だかうっすらとホコリをかぶっているような...』と感じるのが、灰、というのが移住者としての実感です。洗濯物も、気になる場合は部屋干ししますが、普通に外に干している方も多いです。噴火の回数や規模にもよりますが、夏場は風向きが逆なので、大隅半島側にはほぼ降りません。

A



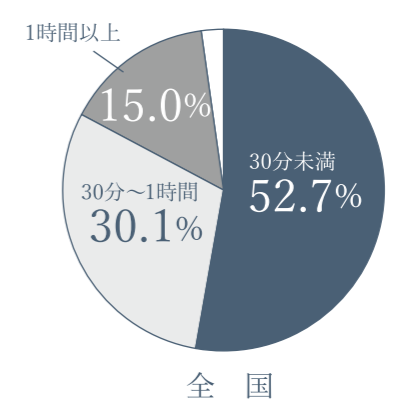
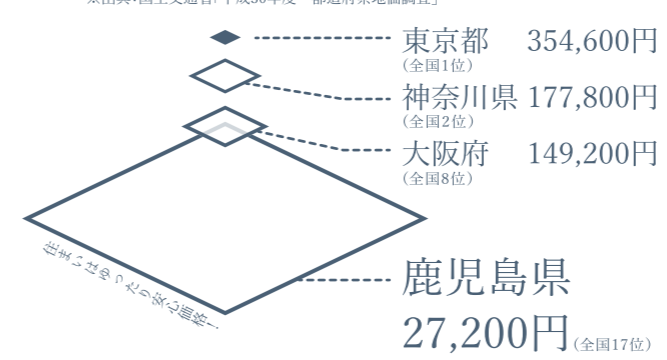
通勤時間の比較

※出典：総務省「平成30年度住宅・土地家屋調査」



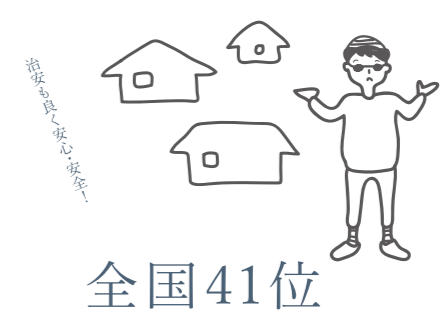
住宅地平均価格(1㎡あたり)

※出典：国土交通省「平成30年度 都道府県地価調査」



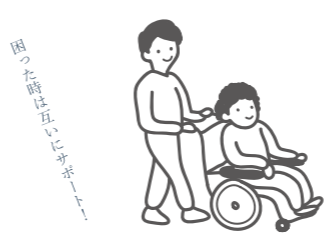
刑法犯認知件数(人口千人あたり)

※出典：総務省統計局「統計でみる都道府県のすがた2017」



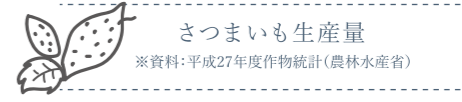
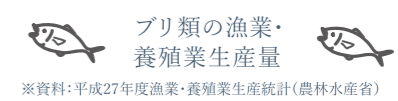
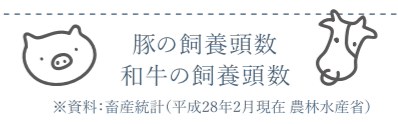
ボランティア活動の年間行動者率

※出展：総務省統計局「統計でみる都道府県のすがた2017」



全国3位

農水産物



全国1位

# ローカル暮らしを始める前に

都会とローカルでは、プラスもマイナスも含めて生活環境が大きく異なります。その結果、そこに住む私たちの時間や空間の感覚も大きく変わります。ここでは、理想の暮らしについてスムーズに検討、選択するためのステップを、ひとつの例として紹介します。

15ページ各種生活支援制度

## 1

### ローカルに住む「目的と条件」を再確認

安心できる環境で子育てをしたい、農林水産業などの職に就きたい、退職後のセカンドライフを過ごしたい、などに始まる「何のために移住するのか、どんな暮らしをしたいのか」を、具体的にイメージしましょう。譲れるところ譲れないところも含め、家族やパートナーとじっくり話し合ってお互いに納得した上で計画を建てましょう。

9ページ移住に関するQ&A

22ページ移住相談窓口

## 2

### 住みたい地域についての情報を集める

気になることがあれば、東串良町後継者支援協議会まで、お気軽にご連絡ください。また、各地で開催される移住フェアやセミナーでは、担当者とお話して相談できますので、ぜひご利用ください。

16ページ「移住体験用住宅」

## 3

### 実際に足を運んでみる

町だけでなく、周辺エリアにも訪れてみて、土地や住む人の雰囲気を感じてみましょう。今後の暮らしのイメージが深まります。(移住体験用の住宅が利用できます)

## 4

### 仕事について考えてみる

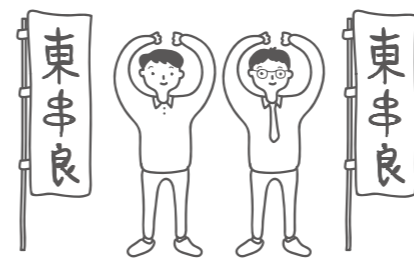
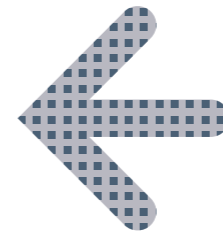
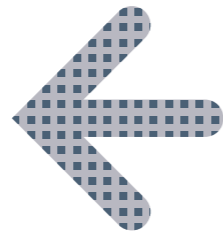
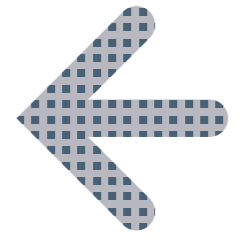
移住後の仕事が決まっていないと、住まいを借りることができないこともあります。また、勤め先を確保してからの移住や起業を考えている場合でも、当面の生活費は準備しておきましょう。

16ページ「移住体験用住宅」

## 5

### まずは週末だけでも住んでみる

『ローカルで暮らしてみたい。でも、すぐに新しい生活を始めるのは不安が大きい』という方は、週末だけ、または月に数日だけ過ごしてみると良いでしょう。少しずつ体験を重ねていくことで、理想の生活がイメージできると思います。(移住体験用の住宅が利用できます)





## お住まいに関わる支援

### 移住体験用住宅

移住体験や就農体験の際の  
宿泊施設として利用できます。  
(事前申し込みが必要です)

### 空き家改修事業補助金

最大 **50万円** ※補助対象経費の  
2分の1以内

対象：本町以外から転入する方、または転入した  
方で町内に住所を有して1年が経過していない方。  
空き家改修には、所有者の承諾が必要。※要件あり

### 移住促進事業補助金

●新築の場合 最大 **115万円** ※要件あり

基本額 15万円  
中学生以下の扶養親族1人 10万円 ※最大3人  
東串良町内の設計業者と契約 10万円  
東串良町内の建築業者と契約 50万円  
柏原小学校区に建築 10万円

●購入の場合 最大 **55万円** ※要件あり

基本額 15万円  
中学生以下の扶養親族1人 10万円 ※最大3人  
柏原小学校区の住宅購入 10万円

### 定住促進事業

新築をされる方へ用地を貸し付けます。  
(貸付期間:20年)

1坪当たり **90円/月**

※貸出期間中は、土地への固定資産税はかかりません。 ※貸付期間満了、または  
契約後10年経過後に残期間の貸付料を全額納付することで、借主の土地になり  
ます。 ※用地、年齢、収入など要件あり

### 公営住宅・特定公共賃貸住宅



若者・子育て世代や单身の方などへ、町内に  
162戸ある町営住宅もご案内しています。

※所得要件等あり

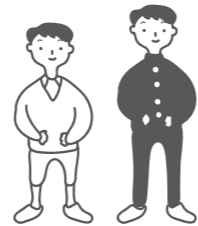


### 学校給食費補助金

町内小学校、中学校の児童生徒に、

月額 **2,000円** を補助

小学校：3,800円 → 1,800円 ※要件あり  
中学校：4,300円 → 2,300円



### 東串良町奨学金

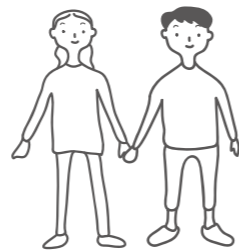
大学・専門学校等 **30,000円/月**

高校 **15,000円/月**

返済期間中に町内在住の場合は、在住期間に  
応じて返済金の1/2を免除します。

貸与期間終了1年後から10年間で返済。

(無利子) ※要件等あり



### 不妊治療助成事業

不妊治療を受けているご夫婦に対し、  
その費用の一部を助成します。

※要件あり

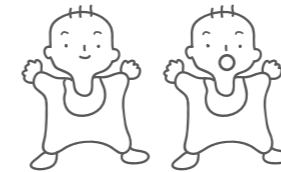


### 結婚新生活 支援事業補助金

新婚世帯の新居の取得・賃貸・引っ越しの  
費用を補助します。

最大 **300,000円**

※年齢、収入など要件あり



### 赤ちゃんすこやか支援事業

お子さんを出産した方に、お祝い金を支給します。

第1子 **30,000円**

第2子 **50,000円**

第3子以降 **100,000円**

※年齢、在住期間など要件あり



### 子ども医療費助成制度

0歳から高校卒業までのお子さんの

**医療費全額無料**

※要件あり

家族と  
暮らす  
ために

ローカル暮らしを支える  
東串良町の  
各種生活支援制度

移住前・移住後・結婚・出産・教育・医療・  
家族のさまざまな場面をしっかり  
支えてくれる制度が整っています



東串良町では、子育てがしやすい環境づくりに力を入れています。  
お子さんの健やかな成長と暮らしの充実のため、  
さまざまな支援制度をご用意しています。  
また、保育施設も充実し、待機児童ゼロを実現。  
都会にはない自然や、ゆったりとした時間の流れと共に  
安心して出産・子育てができる環境を整えています。



## 就農・移住体験ツアー

暮らすのに”ちょうどいい町”で移住体験。



東串良町では就農・移住体験ツアー参加者を随時募集中。広がる自然や農業を営む方々と実際に触れ合うことを通じてローカルの日常を体感できます。滞在は、古民家風のお試し住宅をご用意。等身大で町の暮らしに溶け込めます。お問い合わせは東串良町役場企画課(TEL0994-63-3122)まで。

各支援制度とも、全ての要件を満たす方が支援の対象となります。要綱には下記以外の要件も存在します。各制度は冊子作成時のものであり、最新の制度等の詳細につきましては、

**農林水産課農政企画係(TEL0994-63-3123)**が、ご相談を承ります。

※1:「就農」 農業経営を開始すること。以下の3項目のうち、一番早い日を指す  
①農地を取得した日  
②主要機械設備を購入あるいは賃借した日  
③取引開始日(作物の初出荷日、肥料の初購入日など)

※2:「認定新規就農者」 就農(※1)から5年以内で、かつ「原則18歳以上45歳未満」もしくは「農業に関する知識や技能がある65歳未満の方」で、今後5年間の経営目標などを記した就農計画を各市町村に提出し、認定される。

継続してこそその独立独歩。経営をしっかり支えます。

## 農業次世代人材投資資金

《経営開始型》(農林水産省)

就農直後の経営確立を支援する資金です。

年間最大 **150** 万円(最長5年)

※令和元年10月時点

・以下の条件をすべて満たすこと

- ①独立・自営就農 ②就農時に50歳未満
- ③「認定新規就農者(※2)」として認定されている

抱える問題も仲間がいれば安心。

## 農業青年クラブ活動奨励金

東串良町農業青年クラブに加入後、1年間活動に参加した方

※令和元年10月時点 ※年齢等要件あり

起業は「お気軽に」というわけにはいきませんが、農作物の生産に実績のある地域で先人のノウハウを学びながら事業をはじめることができるという環境は貴重なのかもしれません。



未経験者でもOK! しっかり学んで一生の仕事に

## 農業次世代人材投資資金

《準備型》(農林水産省)

就農前に、県が認める農業大学校等の研修機関での研修を後押しする資金です。

年間最大 **150** 万円(最長2年)

※令和元年10月時点

・就農(※1)予定時、50歳未満

・以下のいずれかの就農を目指すこと

- ①独立・自営 ②雇用就農 ③親元での就農
- ・農業大学校などの県が認める研修機関等で1年以上研修すること



機械や農機具など、起業に必要な経費も支援。

## 新規就農者農業機械等導入事業 農業生産対策事業

農業用機械・施設の購入に掛かった経費の1/3を補助

両事業合わせて  
年間最大 **70** 万円

※令和元年10月時点

要件:新規就農者農業機械等導入事業

- ・東串良町に居住している
- ・就農(※1)から、3年以内
- ・補助金申請時に、50歳未満
- ・「認定新規就農者(※2)」の認定を受ける
- ・受給後5年間、農業を継続できる

要件:農業生産対策事業

- ・東串良町に居住している
- ・「認定新規就農者(※2)」あるいは「認定農業者」の認定を受けている
- ・受給後5年間、農業を継続できる
- ・導入費用30万円以上に限る

# ”東串良町での 就農活動“を支える 各種支援制度

収穫量・出荷量鹿児島県ナンバーワンを誇り、「かごしまブランド」に認定されている、ピーマンの栽培をはじめ、東串良町ではさまざまな農作物が生産されています。住みはじめやすく、より働きはじめやすく。東串良町で「就農活動」をお考えの方を支援する各種制度を紹介します。



各地からサーファーが訪れるビーチ



H2Bロケット「こうのとり」打ち上げと  
国家石油備蓄基地



夏、肝属川と天の河



上空より望む東串良町

水平線から昇る初日の出



松林のトンネル



サラブレッドの調教風景



柏原海岸に咲くルービン



あすばる大崎  
大崎町「松韻乃湯」

休日、車でちょっと足を伸ばすだけで  
さまざまなアミューズメントに出会えます。  
写真では伝えられない「おすすめスポット」が  
まだまだたくさん眠っていそう。



鹿児島県

くらしの中の  
おすすめスポット

東串良町は小さな町です。  
でも、日常の中で行ける距離に豊かな自然、温泉、  
アクティビティ、文化施設などがあります。  
けっして都会ではないですが、  
その代わりに都会にはない景色と暮らし、  
「楽しさを自分で探し、創るたのしさ」があります。



鹿屋市 串良さくら温泉 露天風呂



南大隅町 MAGICAL STAY  
※MAGICAL STAYは期間限定の  
営業となります。



都城市 子育て世代活動  
支援センター「ふれびか」  
写真提供：都城市

曾於市 フォレスト  
アドベンチャー  
おすすめ



都城市 都城市立図書館  
写真提供：都城市



肝付町 高山温泉ドーム



垂水市 「森の駅たるみず」  
キャニオニング  
シャワークライミング

ここまでお読みいただき、ありがとうございます。

都会とローカル、どちらにもプラスとマイナスがあります。

「こちらの方が絶対素晴らしい」とは、言い切れません。

また、移住について考えはじめると

「人生の大きな決断だから、  
何があっても頑張って、

自分の力で何とかしないと」  
と、深刻になりがちです。

ですが、本来、移住について考えるとは、

「今の生活よりも、楽しく豊かに暮らせる毎日」

について考える、とてもポジティブなことだと思いますし、

「移住イコール永住」という訳でもありません。

まずはリラックスして、理想のローカルライフをイメージしてみてください。

あなたは移住したら、何をしてみたいですか？



## 東串良町の移住相談窓口

東串良町での「住まい」「しごと」「子育て」を始めとする暮らしに関する相談、  
移住支援策に関する相談、就農に関する相談など、東串良町への移住に関するあらゆる相談に対応します。  
また、首都圏等で開催される移住セミナーやフェアに参加し、移住に関する広報や個別相談への対応を行っています。

### 東串良町後継者支援協議会

鹿児島県肝属郡東串良町川西1543番地  
東串良町役場 企画課内 ☎0994-63-3122  
kikaku@higashikushira.com

### 東串良町HP

<http://www.higashikushira.com/>

### 地域おこし協力隊 Facebook

<https://www.facebook.com/higashikushira/>

## 東串良町へのアクセス

- 空港からのアクセス  
鹿児島空港から車で約1時間20分(高速道路利用:溝部鹿児島空港IC～野方)
- 新幹線からのアクセス  
JR「鹿児島中央駅」から約1時間40分(高速道路利用:鹿児島IC～野方)
- フェリーからのアクセス  
大阪から志布志まで「さんふらわあ」が就航。志布志より車(自家用車・レンタカー)で約40分

鹿児島県内への移住について相談したい時は

## かごしま「よかところ」暮らし支援センター

鹿児島県への移住に興味のある方や移住を検討している方等に対し、専門の相談員が  
鹿児島の生活環境や住まい、移住支援等について幅広く相談をお受けします。

東京都千代田区有楽町2-10-1 有楽町駅前 東京交通会館8F(ふるさと回帰支援センター)  
☎03-6273-4401(代表) ☎080-7731-7915(担当者直通)  
メール kagoshima@furusatokaiki.net  
相談時間: 火曜～日曜 10～18時 休日: 月曜・祝日・年末年始等



鹿児島県内への移住に関する情報はこちら

## 鹿児島移住・交流ウェブサイト かごしまで暮らす

<http://www.kagoshima-iju.jp/>

検索  かごしまで暮らす